

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第3回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについてインターネットによるアンケート調査を2014年2月に実施し、その結果を取りまとめたものである。
(回答数:1,136件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 希望する住宅ローンの金利タイプは「全期間固定型」が増加<p.2>

- ・「固定期間選択型」の希望割合は38.2%(前回調査[2013年10月]:38.5%)と大きな変化はなく、「変動型」は23.9%(前回調査:26.6%)と減少した。一方、「全期間固定型」は37.9%(前回調査:34.9%)と増加した。

2 住宅の買い時意識は減少<p.6>

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、34.0%(前回調査:41.6%)に減少した。

3 住宅取得に当たっては「耐震性能」、「価格・費用」を重視する方が多数 <p.10>

- ・住宅取得時に特に重視するものとして、「耐震性能」、「価格・費用」が引き続き上位である。
- ・住宅取得時に耐震性能を重視すると回答された方の46.0%が「コストアップしても、耐震性能を高めたい(耐震等級2以上など)」と回答している。<p.11>
- ・住宅取得時の条件として省エネ性能を重視すると回答された方の56.8%が「コストアップしても、太陽光発電設備を設置したい」、46.4%が「コストアップしても、断熱性能を高めたい(次世代省エネ基準の適用など)」と回答している。<p.14>